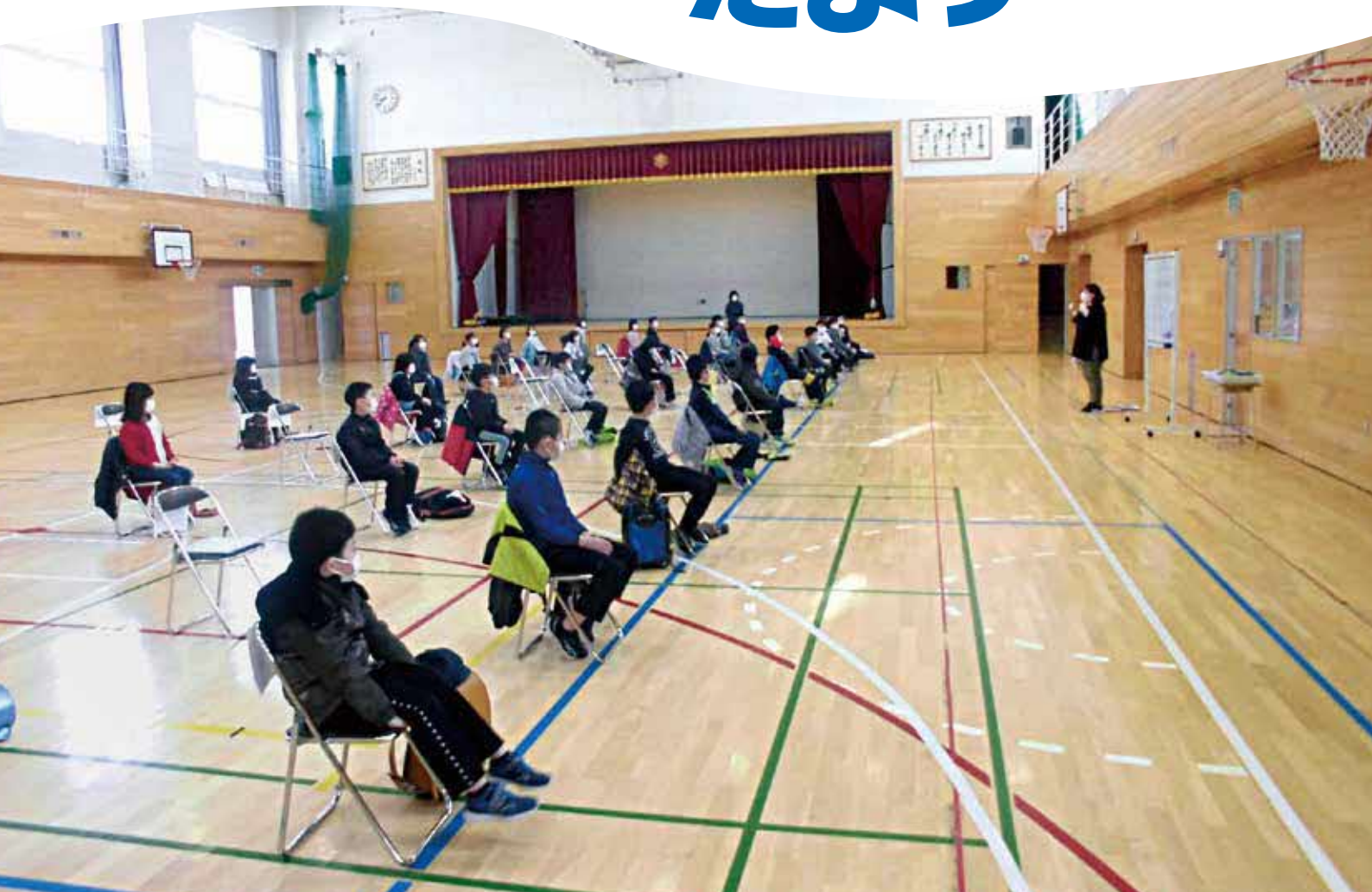


しべちゃ 議会 だより



— 新型コロナウイルス感染症予防のため分散登校・体育館で先生の指導（標茶小学校） —

第119号

令和2年5月1日発行

発行／標茶町議会
編集／広報調査特別委員会
電話／(015) 485-2111
住所／標茶町川上4丁目2番地

3月第1回定例会（3月6日～13日）

令和2年度一般会計予算・特別会計・企業会計予算可決

総額 148億5,790万1千円

令和元年度補正予算可決

一般会計 2億3,967万8千円の追加

一般質問 **町政を問う** 9名18件の質問

意見書2件（いずれも否決）

決議書（可決）「民族共生の未来を切り開く」決議

標茶町条例の一部改正7件

第1回臨時会（1月28日）育成牧場利用料改正他

総額 120億 6,300万円

特別会計	国民健康保険事業		11億1,403万4千円
	下水道事業		5億4,700万円
	介護保険・介護サービス事業		15億6,307万4千円
	後期高齢者医療事業		1億1,498万円
	簡易水道事業		2億5,100万円
企業会計	病院事業	収入	13億8,639万7千円
		支出	14億3,593万7千円
	上水道事業	収入	1億181万1千円
		支出	1億5,442万円

第一回定例会

令和二年度
予算可決

一般会計・主な事業

- マテリアルリサイクル推進施設整備事業
(クリーンセンター)…………… 1億9,751万3千円
- 中山間地域等直接支払い交付金…………… 3億7,828万4千円
- 新規就農者支援事業…………… 5,684万4千円
- 交通安全施設整備(町道維持補修)…………… 8,000万円
- 町営住宅建設事業
(桜6戸新築、川上改善12戸、桜改善26戸)…………… 2億7,846万円
- 標茶中学校校舎、講堂建設…………… 7億9,182万6千円
(総額23億3,486万5千円)
- 学校給食共同調理場建設…………… 4億1,018万6千円
(総額13億4,426万5千円)
- 防災無線受信機全戸設置…………… 3億1,105万1千円

— 令和元年度補正予算可決 —

第1回定例会では、令和元年度各会計補正予算が提案され、審議の結果議会はこれを可決しました。
この時期の補正予算は、ほぼ決算に近い内容となります。

会計別			3月補正額	補正後予算額
一般会計			2億3,967万8千円の追加	121億68万1千円
特別会計	国民健康保険事業		3万3千円の追加	11億3,968万4千円
	下水道事業		2,201万1千円の減額	5億37万円
	介護保険・介護サービス事業		9,170万4千円の減額	14億3,827万4千円
	後期高齢者医療事業		0円	1億1,199万5千円
	簡易水道事業		1,430万円の減額	2億413万円
企業会計	病院事業		0円	13億1,922万1千円
			0円	13億6,081万1千円
	上水道事業		130万円の減額	9,606万8千円
			317万2千円の減額	1億4,216万7千円

「憩の家かや沼」町民懇談会の実施を

深見 迪議員

町 長 当面は考えていない

一般質問

町政を問う

問 第5回町民講座は、多くの町民が参加しづらい時間設定ではなかったか。

（質）を高くする構想のようだが、町民や今までの利用客の要望とかけ離れてはいないか。

基本計画ではグローバルでインバウンド（訪日外国人旅行）的な性格を持つ施設、高級で外国人や経済的に裕福な人たちの泊り客を期待しているように聞こえたがどうか。また、今までの憩の家のように標茶町民はもとより、これまで憩の家を高く評価してくれた近隣市町村からの団体泊り客のような人たちが置き去りにされないかとの危惧を持ったがどうか。

憩の家改修費は概算で7億円、8億円という情報があるが、現在町が抱えている様々な建設事業を考えると町の財政に与える影響は大きすぎると考えるがどうか。

答 講座の開催時間は講師の都合で決めた。設計は決してインバウンド（訪日外国人旅行）の富裕層をターゲットにする施設をめざすものではない。今まで以上に町内外の人に愛される施設をめざしたい。また、施設は今までも質の良いサービスをめざしている。

部屋数も17部屋を11

部屋にし、クオリティー基本計画は令和2年3月20日まで



第5回 町民講座

に策定する。
当面は町民との懇談をしていくということは考えていない。
「憩の家かや沼」の概算工費は8億円前後を目安としているが、町財政の持続性を念頭に、できるだけ負担を少なくするよう努めていきたい。

国民健康保険税の負担軽減策を

深見 迪議員

問 本町として「高すぎる国保税」という認識は持っていないか。今後国保税は本町の場合どのように推移するのか。本年度は「赤字解消」に取り組んでから、どの程度の値上げ率になるか。

一般会計からの法定外繰り入れの再開と均等割撤廃で国保税の値下げをし、町民が安心して医療にかかれるようにすることが本来の自治体のすべきことと考えるが町長の所見を聞く。

答 所得における保険税が高いという構造的な問題があると言える。本町においても所得300万円以下の世帯が国保加入世帯の約76%、所得がゼロの世帯が約20%で、また、国保の加入者は高齢者が多い。加入世帯において負担を感じている人が多いと思う。

今後の国保税の推移と値上げ率については、引き続き税率改正等を提案していく。

法定外繰り入れの再開と均等割撤廃は考えていない。

深見 迪 議員

加齢性難聴者への支援を

問 中度・軽度の加齢性難聴者は、本町では推計どの程度いるか。

また、加齢性難聴者は、難聴により会話が少なくなり、その結果、引きこもりや要介護になりやすくなると考えるが所見を聞く。

加齢性難聴者に対して補聴器購入等の補助金、声かけや実態把握等で支援をすべきと考えるがどうか。

厚労省は、障害者ICTサポート総合推進事業を新設したが、貸出用ヒアリンググループの整備はできるか。



答

加齢性難聴者については、アンケート調査の設問を工夫するなどして実態把握に努めたい。

難聴と引きこもりの因果関係についてはWHOの認知症予防のためのガイドラインによる認知症予防のための12項目のリスク要因の一つとして挙げられている。

補聴器購入補助金については北海道や他の自治体の状況を注視していきたいと考えている。

貸し出し用ヒアリンググループ整備費用の補助制度は市町村事業には該当していない。

本多 耕平 議員

育英資金貸付減免規定の拡大を

町 長 意見を聞き研究していく

問

現在、高校を卒業する多くの生徒は、都市部に集中する大学や専門学校等に進学する場合が多く、地方に住む者にとって専門的分野に進学する場合、それ相応の学資金が必要となっている。

その中で奨学資金制度は、親にとつては大変重要な制度である。町民の命とくらしを守り、本町の経済、そして基幹産業を守る立場で私は平成28年9月定例会で質問したが、改めて町長、教育長に伺う。

一、本町に一定期間就業した場合、育英資金の返済減免、また本町に就業条件とした給付型奨学資金制度を追加してはどうか。

二、町内に一定期間就業した場合、他自治体等の奨学金の返済の一部を肩代わりする制度、さらに、永住を進めるため住宅を建てる場合、町有地の無料開放す

る等考えられる支援制度を創設し、有資格者の安定かつ恒久的確保に努めるべきではないか。

答

平成30年4月から資金の拡充を図っており、貸付額の限度額が別枠となっていた医学、歯学家庭に、獣医学及び薬学課程を新たに追加し、貸付金の償還を猶予するといふものである。

今後とも育英審議委員会の意見を聞き研究していきたい。

また、人材確保に向け、引き続き努力するとともに、各種産業団体、審議会等の意見を聞き研究していきたい。

本多 耕平 議員

本町における森林産業振興政策を充実すべき

問

町の森林産業振興政策について伺う。

一、町有地（荒廃地）に植林をすべくではないか

二、町有林の間伐、皆伐の年次計画はあるか

- 三、毎年3万㎡が蓄積されているが、毎年度の程度伐採しているか
- 四、酪農家が必要とするおが粉生産に全力を注ぐべきでないか
- 五、近年、一般家庭で薪ストーブが多くなっている新生産の考えはないか
- 六、森林環境譲与税の有効利用上どのような運用で林産業振興を図るか
- 答** 一、基本的には植林するのが妥当であると考えている。
- 二、5年を一期とする森林経営計画に基づいて策定している。
- 三、平成29年度は、主伐、間伐合わせて4,606.64㎡、30年度は、4,629㎡、令和元年度は、2,534.92㎡の伐採を行っている。
- 四、おが粉の生産は、補助事業予算の配当により決まっているので予算の確保を引き続き要望していく。
- 五、町が安定的に素材の供給を行うのは困難である。
- 六、令和2年度は、担い手対策と私有林整備に向けた取組を実施したい。

やすらぎ園の人材確保とサービスの向上を

鴻池 智子 議員

町 長 第8期介護保険事業計画で方向を示す

問 やすらぎ園の現時点での在園者は80名程度に調整、ショートステイについても利用制限が続いているとのことだが、この状況が在園者や家族、又、入園希望者の不安や不満になっている。

- この事態を打開するためどう取り組むのかを含め次の点を伺う。
- ①短期間に介護職員が退職した主な要因は何か。
 - ②職員不足がサービスの低下につながっていないか。
 - ③大規模改修により、労働環境を確保し、人手不足を解消すべきではないか。
 - ④第8期介護保険事業計画の現施設の半分を特養、残りをケアハウスに充てる案の実施時期はいつ頃か。

答 退職については、家族、家庭の都合が多数である。

また、業務内容や業務量に違いがあった等の理由もある。

サービスの質の低下を防ぐため、入園者、利用者の数を抑えている。

老朽化が直接的に事故発生誘発原因とはなっていないが、施設や設備の改善の検討時期に来ている。検討の中に労働環境や効率の改善はテーマになる。

第8期介護保険事業計画は策定前だが、令和2年度末には一定の方向性を示す予定だ。

鴻池 智子 議員

災害避難時のためにマイタイムラインの普及を

問 今後いつ起こるかわからない災害に対し、町を挙げての万全な対策が必要ではないか。

町として、雪解け時期の大雨や台風による水害から命を守る自助に厚みを持たせる可能性が高いマイタイムラインの普及が大切ではないか。

特に高齢者の円滑な避難のため、水害被害が出ると思われる対象の地

区の人たちに常に意識してもらう為に啓もう啓発が必要ではないか。

答 近年、防災対策を着実に進めてきた。平成30年8月、道東地区で初めてとなる釧路川標茶地区水害タイムラインを策定した。

マイタイムラインへ、町内会版等、各地区に合った内容のタイムライン策定の検討を進めていきたい。

避難時には、避難が早くできるように、最低限のものを持っていけるように町内会長と一緒に進めていきたい。



3月11日の洪水の様子

鈴木 裕美
議員

憩の家をリゾートにしようとしているのか

町 長 富裕層が対象ではない

問

令和元年第3回、第4回定例会で指定管理者と町と同じビジョンを持つ必要があると質してきた。また、

町民に対し町のビジョンを示し、状況報告をするよう求めてきた。

2月1日に開催された「まちづくり町民講座」は、基本設計概要とも取れたが、その講座が町民への報告なのか。講座内容は、町民が求めている施設ではないと感じた。

本町の観光ビジョン、特にかや沼地区の観光についても示されていない中で、まちづくり町民講座の内容からリゾートと感じたが、リゾートにしようとしているのか。

改修には8億円程度と説明があったが、財源手立てをどのように考えているのか。

「憩の家かや沼」の目的は、町民の健全な休養とレクリエーションの場を提供するとともに、地域観光の

振興に資するためと設置条例に明記しているがこの条例をどのように考えているのか。

今回のまちづくり町民講座内容は議会には全く説明がない。今までの議論経過からも議会軽視ではないか。



憩の家かや沼

答

基本計画の概要が見えてきたから、町民との情報共有を図り、まちづくりを進めたいので開催した。

特定の富裕層をターゲットにしようとする考えではない。

財政は、将来の見通しを注視しながら、補助事業の活用も含め模索中だが、負担が少なくなるよう努める。今までどおり町民に愛される施設、本町の観光振興をけん引する施設として再開を図りたい。

今回の講座は、ある程度の内容が煮詰まった段階で概要を説明できる場を設けた。

鈴木 裕美 議員

講座内容はまちづくりにどう生かすのか

問

町長の公約の一つに、まちづくり町民講座の開催がある。すでに5回開催されているが、この講座の開催は、町民と一緒に情報を共有すると言われているが、この講座の目的は何か。

町民の参加は、開催ごとに何人参加しているのか。

まちづくり町民講座をこれからの町政にどのように生かしていくのか。

答

目的は、国や町の課題や情勢などについて町民と共有し、まちづくりの意識を育み、住民参加型のまちづくりを進めるためである。

参加者は、1回目90人、2回目48人、3回目55人、4回目37人、5回目250名の参加である。

町民のみなさんの参加で、行政に目を向け、関心を高めてもらい、より多くの町民がまちづくりのきっかけとなることで、町がより元気に、町全体の活力となっていくことを期待している。



町民講座

実効性の高い酪農振興策を

類瀬 光信 議員

町 長 今できることに取組む

また、長命連産を理想としながらも、近親交配に起因する乳牛の虚弱化、短命化が酪農経営の障害となっている。乳牛の抗病性、長命性を高めることで、各農場の後継牛保有数が適正化されれば、個体販売による増収が図られ、人手不足や育成施設の容量不足解消につながる。近親交配係



町民が望む、町民のための施設として憩の家の再開を準備している。基本計画の策定を依頼した方との関係から、町民や議会への情報提供が遅れているが、不確かな情報で予断を与えることは避けたい。また、馬に関する町の取り組みは、情報として伝えているが、どう生かされるかは未定である。

また、無償化の前倒しに約3千万円を要したが、費用対効果をどう評価しているか。さらに、待機者の発生や保育の長時間化、保育士の業務量増加などの問題が起きている。これらを早急に解決し、子育て支援の充実を図るべきではないか。

問

関税と貿易に関する協定の脅威、個体価格下落、TPP対策事業の償還開始等、酪農の経営環境は厳しい。多様な経営形態を維持し

数を下げるために、バイキングレッド、モンベリアードを用いた三元交配に取組む考えはないか。

答

健全性を特徴とする生産体制構築に向け、予防接種と、BVD・DMDのP1牛摘発のためバルク乳検査を行っている。また、HACCP推進会議を立ち上げ、飼養管理技術や衛生管理の向上にも取り組んできた。

牧野等での疾病検査の重要性は十分理解しているが、実態としては困難である。国の清浄化方針が未定の疾病もあり、実行可能なことに取組みたい。三元交配について、現時点では知見がなく、今後研究を進めたい。

類瀬 光信 議員

「憩の家」再開の方針は町の観光政策と矛盾しないか

問

「憩の家」の債務処理と破綻の原因究明は未了だ。

一方、再開の準備は着々と進められている。基本計画の概要では、海外の富裕層向け高級ホテルへの転換を目指しているように見えるが如何か。

また、「憩の家」の再開を、「馬と共に暮らせる町」の取組みをはじめとする政策とどう連動させるのか。そして「憩の家」が、町民の憩いの場にならないとすれば、設置条例に違反することにならないか。

答

また、無償化の前倒しに約3千万円を要したが、費用対効果をどう評価しているか。さらに、待機者の発生や保育の長時間化、保育士の業務量増加などの問題が起きている。これらを早急に解決し、子育て支援の充実を図るべきではないか。

うに、施設の性格が当初とは変わっており、設置条例自体変わってもよい時期と考える。

類瀬 光信 議員

保育料無償化を検証すべき

問

標茶町は、他所より半年早く保育料を無償化した。制度の不成熟さや準備不足からか、期待した効果を実感できていない。実際、就労人口の増加などの具体的な成果があったのか伺う。

また、無償化の前倒しに約3千万円を要したが、費用対効果をどう評価しているか。さらに、待機者の発生や保育の長時間化、保育士の業務量増加などの問題が起きている。これらを早急に解決し、子育て支援の充実を図るべきではないか。

答 保育料無償化の成果は、確認中である。ただし、入園申込が増えており、女性の就労、職場復帰につながったと考えている。

また、早期無償化に約3千万円を要したが、保護者の経済的な負担軽減と、先に述べた女性の職場復帰を促したと考えている。

無償化による問題点は指摘のとおりである。特に、パート保育士によって対応している部分が多いので、心身のケア等を適切に行いたい。



長尾 式宮
議員

標茶町におけるふるさと納税の有効活用を

町 長 トップセールスで直接企業にお願いに行く

問 ふるさと納税は平成20年より始まった制度で12年目に入ろうとしている。本来は「遠く離れた故郷を応援しよう」とはじまった制度ではあるが、時

が経つにつれ制度の役割は多岐に及んでいる。

本町では今年度より本格的にふるさと納税に取り組んでいるが、今年度末の見込みでどの程度の利用があったのか。また現時点で標茶町の返礼品はどの程度種類があり、今後返礼品の数はどの程度種類を設定するのか。

今後企業版ふるさと納税のルールが変更されると聞いていますが町として企業版ふるさと納税を積極的に活用する方針があるか伺う。

答 2月現在で、18の事業所から115品の返礼品の登録があり、この後も上限がないため、随時返礼品の募集を行っている。

「馬と共に暮らせる町標茶」という、馬に関する部分の寄付から始めており、それに付随するものとしては、牛肉とかチーズ等があるが、主に体験型というものも併せて用意している。

今後は、トップセールスで、賛同を得られる企業にお願いに行くことになっている。



体験型乗馬体験

問 市街地から離れた地域に住む高齢者は、医療、介護、日常生活においても非常に不便な生活環境にある。高齢者やその家族にとっては、日常の健康維持や非常時の対応などに不安を抱えている。このような実態をどう認識しているか。

また、市街地から離れた所で暮らす高齢者とその家族のニーズにどのように対応し解消しようと考えているのか伺う。

市街地から離れた周辺地域に各種の介護施設があれば、高齢者と家族の不安も解消されるところだが、地域の中に小規模多機能型居宅介護施設の設置などが必要ではないか。町長の所見を伺う。

このような施設の設置により介護保険料はどの程度の負担になるのか伺う。

一定程度の人口が生活を営んでいる地域であれば、町の支援と地域での人材の確保、移

遠隔地に必要な介護施設を

渡邊 定之
議員

町 長 難しい状況である

動手段と合わせて運営することは考えられないのか伺う。

答 市街地から離れるほど不安が高まるであろうという認識は持っているが、町内の居宅介護施設では24時間の連絡体制を確保し、緊急の一報があった場合にはそれぞれの緊急連絡網等により、スピーディーな対応を行っている。また、希望者には緊急通報システムの設置を実施している。

施設の設置については、好ましいが、慎重な議論が必要と考えている。施設を設置すると介護保険料は第7期基準月額では444円増額の試算となる。

運営については、町営も民間も慢性的な人員不足であり、地域で新しく施設整備を行うことは非常に難しい状況である。

渡邊 定之 議員

学校給食など公共施設での食材の安全は確保されているか

問 国内で販売されている食パンからグリホサート残留農薬が検出

されたと聞いたが、この農薬が発がん性物質であることは広く知られている。日本で使われている小麦の8割強は輸入小麦である。このことから、グリホサート残留農薬の含まれた小麦粉を原料としたパン等が学校給食等で使用されているのではないかと心配があるが、そのようなことはないか。

今後給食など公共施設での食材調達には、検査も含め安心安全なものを確保すべきと考えるがどうか。

答 本町の学校給食用のパンの原材料は北海道学校給食会が提供している道産強力小麦粉100%を使用しております。

食材の選定にあたっては、町内産、管内産、道内産、国内産の順に可能な限り地場産品を活用し、調理員がその都度安全確認を行っている。

学校給食以外の保育園、病院、やすらぎ園等での給食提供は、基本的には教育委員会所管の部分と考えは同じである。

松下 哲也 議員

町職員の労務管理はどう取り組んでいるか

町 長 元気で働きやすい職場環境に努める

問 昨年7月に、道内自治体職員の痛ましい事故が起きた。長時間にわたる残業が原因との報道がなされているが、各方面からの調査が継続されている。このような痛ましい事故が二度と起きることのないよう万全な体制、労働環境を作り上げなければならぬと考える。

本町でも多くの町民から、役場庁舎の照明が夜間遅くまで点灯しており、常に残業している職員が多いのかと心配する声が聞かれる。次の点について町長の所見を伺う。

一、恒常的に残業の多い部署があるのか。
二、技術系、事務系、現業部門における人員不足がみられるが、その対応はどう取っていくのか。
三、その部署における環境、チーム力、個々の精神的な余裕等が図られているか。

答 本年度のこれまでの実績では、建設、総務、農林課において時間外勤務が多い状況である。

原因の一つとして、技術系の専門職の職員が不足していることによる。

人員不足に対しては、適正な人員配置に努めているが、人材派遣会社の活用や社会人枠の採用試験を実施し人材確保に努めている。

町職員で構成する職員安全衛生委員会、風通しのよい職場環境づくりに向け取り組んでいる。また、全職員を対象としたストレスチェックを実施している。

松下 哲也 議員

へき地保育所の給食を実施すべき

問 昨年4月から保育料無償化が実現された。本町は給食費についても無料としている。それに伴い、弁当を持参するへき地保育所との対応に不平等な点が父母の間で出されている。

子育ての観点から不平等な対応はあってはならないと考え、町内2力

所のへき地保育所に給食を実施する考えはないか町長の所見を伺う。

町機構図の中には、それぞれの保育園には子供が親しみやすい名称がつけられているが、沼幌へき地保育所に新しい名称をつける考えはないか伺う。

答

3歳児以上の園児に対し、外部調理、保育園に輸送方法が厚生労働省令により可能となり提供できる方法を検討してきたが、へき地保育所の給食開始時間である11時に合わせるには物理的に困難であることが判明した。

また、調理員、運搬車の確保等、施設の改修など課題が多いことから給食提供は困難であると判断した。

名称については地域の合意を得ている。今後通所児童、保護者、地域と検討する。



黒沼 俊幸
議員

雪印メグミルクの出入り口に信号機を

町 長 実現に向けて要請をしていく

問

磯分内市街地では雪印メグミルク新工場建設が昨年より行われている。

それに伴って新工場の国道への出入り口が、国道391号線と熊牛原野14線の交差点となり、新工場関係者とトラックの出入りが頻繁になったことにより信号機が必要との声が上がっている。

新工場が始まって、牛乳トラックや社員の出入りが変わらないうちで信号機の設置を検討してほしい。

答

信号機の整備要望は、管内でもより全道的にも年々増加しており、交通量などを勘案し、緊急度や危険度が高い箇所から順次整備を行っているとのこと、実現に向けて関係機関と協議、要請をしていく。



国道への出入口

黒沼 俊幸
議員

「憩の家かや沼」の破産整理の内容は

問

「憩の家かや沼」が平成31年3月28日に破産し、4月10日に株主に説明し、令和元年6月28日に1回目の債権者説明会、12月28日に2

回目の債権者説明会が開かれている。「広報しべちや」の報道によると公社の資産は740万円で負債は4,900万円ということだが、町長はこの4,900万円の内訳を大株主として把握しているか。

また、一般的な負債の返済しなければならぬ順位について伺う。

施設の保全是所有者である町に戻されたという日はいつだったのかも併せて伺う。

答

株主として債権者集会に参加し、破産管財人より報告された内容は、負債の約4,900万円の内訳については、財団債権が850万円、その他一般債権が4,050万円で、それぞれの内訳は公表されていない。

破産手続きの破産等の優先順位は、初めに財団債権、次に一般債権といわれており、財団債権のうち公租公課費、次に賃金の債権といわれる。

施設は、令和元年6月26日開催の第1回目の債権者集会終了後に破産管財人より引き渡されている。

予算審査特別委員会 総括質疑

深見 迪 議員

アイヌ新法に関わって博物館の予算請求をしては

問 アイヌ新法の中で、「アイヌに関する文化財の展示を行っている博物館」に予算を出すを書いてあるが、標茶町の博物館「ニタイ・ト」について予算請求をしてはどうか。

答 アイヌ新法の国の補助金について、この新法の内容をさらに把握しながら、一定の形を作って、申請の手続きをすめられたらいいのかなと考えている。

新型コロナで一斉休校にしたが問題はなかったか

問 急な一斉休校要請で問題は起きていないか。文部科学大臣は、「設置者が学校を開くと判断すれば尊重する」と言っているが、どのような方針か。

答 子どもたちの健康管理を考えて、一斉休校にしたが、今は分散登校にしている。家庭訪問を含めて子どもたちの様子を確認している。

B型就労支援事業所、町内の商店、飲食業への支援を

問 新型コロナ感染症の影響により、B型就労支援施設の売り上げが激減しているが、支援は考えていないか。

あわせて、商店や飲食店の売り上げが激減していると思うが支援策をぜひ検討してほしい。

答 国の方から支援策が出ると思われるので、状況を確認しながら進めていきたい。

新型コロナで学童保育、放課後等デイサービスの運営はどうなっているか

問 学童保育は通所者数が増えているか、運営はどうなっているのか、それから、障がいを持つ子どもたちが通う放課後等デイサービスの運営はどうなっているのか。

学童保育については、1施設当た

り1日1万円（後に3万200円）を追加補助するというのが申請は考えているか。

答 学童保育は予防も兼ねて現在1年生から3年生まで午前中から開所し受け入れている。

予算申請は、国の方から書類の方もだんだん届きだし、申請に向けて手続きをしている最中である。

発達に障がいのある児童の受け入れは、各事業所が（放課後等デイサービス）通常と同じような状態で、受け入れをしてきている。



学童保育

地域社会再生事業予算の活用を

問 政府の新年度予算の中で地域社会再生事業に対する予算が計上されている。道が2、100億円市町村が2、100億円ということで予算化されている。

地域おこし協力隊の人たちがこれに該当するのではないかと思うがどうか。

また、技術者が非常に不足している状況があるが、技術職員不足のために国がそれを拡充するために交付税措置を行うということが新たに盛り込まれた。ぜひ調べて活用すべきではないか。

答 地方における技術者不足に対応するための政策だということなので、報道されていたのは目にしている。

町内の各職場、各産業において技術者不足というのはこれまでも散々議論をされていて、確保というのは非常に大事なことである。国等が用意された政策、制度について活用できるものはどんどん取り込んで前向きに対処していきたい。

類瀬 光信 議員

釧路川増水時の内水処理対策の進捗状況は

問 一昨日の避難指示も含め水害が頻発している。

町は、水害による人的被害を出さないために、町民の自助努力が重要として、タイムラインの策定に取組んでいる。しかし、インフラと財産を守るためには、ハード面での対策が必要である。また、標茶町が「度々水害に見舞われている町」とか「水害対策の遅れている町」といった負の印象を抱かれないよう、抜本的な水害対策のギアをひとつ上げるべきだ。

特に市街地の内水氾濫については、総合的な排水対策として、排水機場や樋門の再整備が議論されてきた。

そんな中、昨年三月の定例会で、富士公園を遊水池や遊水公園として活用することについて「有効性が確認できれば十分検討に値する」と答弁している。その進捗状況について伺う。

答

駅前地区、桜も含めた内水処理計画の策定を進めている。現在は、計画に必要なポンタワ川を含む釧路川支流の資料とデータを収集している段階である。



3月11日の釧路川の増水

遠隔手話サービスを窓口に導入できないか

問 本町では、手話通訳が必要な場合、どう対応しているか伺う。

また、今後手話通訳者を配置する可能性はあるか。

公益財団法人北海道聾唖連盟が提供している「遠隔手話サービス」というタブレット端末を使ったテレビ電話形式のサービスがある。こうしたシステムを利用し、手話通訳を必要とする町民の利便性を高める考えはないか。

答

通常の窓口業務は、筆談等で対応している。町民から手話通訳対応の要請があった場合、公益財団法人北海道聾唖連盟に確保を委託している。日時、場所等を指定し、手話通訳者が派遣されるシステムとなっている。

町が手話通訳者を確保することは難しい。今後、「遠隔手話通訳サービス」について研究し、現状より効率的なシステムであれば導入も含めて検討したい。

町づくりポストに寄せられた意見の取扱いは

問 町づくりポストの設置目的は、町民から町政に対する本音や意見、率直な疑問を吸い上げることと思うがどうか。また、町民から寄せられた意見や質問には、どのように回答しているのか伺う。

町づくりポストに投稿する町民は、自身の素性を公表し覚悟を持って質問している。しかし、「議会で議論済み」であるとか「議会だよりの中で触れられている」からなどの理由で、回答並びに広報への掲載を見送った事例がある。その判断に至る経過が町民には見えないため、意見の選別や、広報が公平性に欠けているとの誤解を生みかねない。丁寧な対応が必要ではないか。

答

町づくりポストは、町政に対する意見、要望、その他諸々について気軽に尋ねるためのもので、文書による回答と、広報への掲載を選択可能にしている。

広報誌には、限られた紙面の中でより多くの情報を町民に届けたいという使命があり、回答の仕方も状況に応じ文書によることもある。

大切なのは、町民に対して隠し事をせず、公平に正しい内容を伝えることだ。今回指摘のあった事案も、掲載しないと決定したわけではない。



町づくりポスト



住民総合健診

松下 哲也 議員

住民総合健診の受診率向上を

問 住民総合健診の受診率はどのような状況か。特に久菩呂会場はどのような状況になっているか。

また、受診率の向上に対し、どのような対策を取っていくか伺う。

答 今年度の実績は、8会場で延べ1,091人の受診となっている。久菩呂会場は22人になっている。普及啓もうについては、アクティブシニア教室を各地区で開催していく。

寄贈農機具の整備管理を

問 寄贈農機具は、現在どう管理されているか。

第三者の視点で選定された農機具を重点に整備してはどうか。

答 現在オソベツにあるD型ハウスで管理している。

1台は、農業文化財再生事業できれいな形で再生している。

町内農機具メーカーで構成している銚路地区機械化協議会で選定されたものを整備している。

本多 耕平 議員

マスク不足の対策を

問 新型コロナウイルスによる感染予防マスク不足が病院、やすらぎ園等であると聞くがどのような対策を行政としてとっているか。



答 職員が手作りで職員一人に2枚配布している。

感染症対策委員会をことあるごとに開催し、介護員、看護師の意見も聞き対応している。

めん羊振興の事業展開は

問 めん羊振興に関する条例がこの度成立したが、具体的にどのような事業展開をしていくのか。

答 条例の趣旨にあるように、観光振興、産業振興を目的にしているので特段に今まで行っていることを変えることはない。

その上で知名度を上げて、しっかりと生産をするということが振興策の条例提案である。

地域おこし協力隊の予算内容は

問 地域おこし協力隊の事業費内容はどのようなになっているか。

答 移住促進事業の「馬とともに暮らせるまち標茶」の事業予算は、1,365万円である。

本町に来て欲しい、そのきっかけづくりをしているところである。

有害鳥獣駆除事業内容は

問 有害鳥獣駆除事業で、今年は熊駆除事業が含まれていると聞く。

どの地区で、どのような事業で事業費はいくらか。

答 被害のあった牧場に緩衝設置の事業があり、機器用品では、新久菩呂牧野、上茶安の個人の牧場、共同牧野、東国牧野、共和牧野、中央牧野、下オソベツ牧野を整備する予定である。

事業費は、使用料、備品、補助金の合計で、396万9千円である。

鈴木 裕美 議員

新型コロナウイルスの経済的影響に町独自で支援を

問 新型コロナウイルスによって、飲食店等では宴会が全てキャンセルになったり、営業時間を短縮したりなど、経済に影響が出ているのではないかと。さらにパートで働く人たちも収入減となっていないか調査をして、町独自の支援策を講じてはどうか。

本町で患者が発症した時を想定し、その対策を考えているのか。医療や介護施設は、人手不足と言われている中、どう対応するのか考えておく必要があるのではないか。

答 旅館業を中心とした影響調査を行った。1月末から3月10日で、食堂、居酒屋等飲食業で2千万円、ホテル、旅館等約2千万円、中国からの部品等が来ない等、建設業関係、自動車産業、外出を控えているというところで、ガソリン販売等などで約1千万円程の影響が出ていると商工会から報告を受けている。

国、道の動向を注視しながら、今後町としてどのような形で対応できるかを検討していきたい。

避難についての意識啓発を

問 3月11日の避難指示では、対象人数は少なかったが、避難しない人たちが多いと感じた。

一昨年の避難指示の状況と比べ、このくらいなら大丈夫との思いで避難をしなかったのではないか。万が一事故が起きた時、避難しなかったことを自己責任だけで済ますことはできない。

最終的には町の責任が問われるのではないか。

今後も避難指示が出されることは考えられる。

避難についての意識啓発が必要と考えるがどうか。

答 自分の身は自分で守るという前提で、自分で避難できない人を誰かがサポートしていく体制に作り上げ、いち早く非難することを最大のテーマとして、町内会とともに取り組んでいく。

博物館に清掃員の配置は

問 博物館の報酬予算の内訳はどのようなになっているのか。また、業務委託料とは何か。清掃員が配置されていないが、今年度から配置をするのか。

答 フルタイムが2名、パートタイムが3名、内1名が清掃員で採用する。

意見書

次の2件の意見書が提出されましたが、いずれも否決されました。

◆国民健康保険の交付金減額（ペナルティ導入）に反対する意見書

高い国保税の負担を少しでも安く抑えるために市町村が一般会計から繰り入れを行うと、国の交付金を減額するという仕組みを、2020年から導入することに反対する内容です。

◆教員の変形労働時間制を導入しないことを求める

忙しい教員の労働時間を1日10時間労働まで可能とし、夏、冬休みなどにその分を休ませ、平均で8時間労働にするという制度導入に反対する内容です。

決議書

◆「民族共生の未来を切り開く」決議

アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ「民族共生の未来を切り開く」内容で、議会は可決しました。



標茶町博物館 ニタイ・ト アイヌ文化展示室

第二回臨時会

(令和2年1月28日)

議案第1号

育成牧場条例の一部改正

放牧期間5月15日から5月1日に、舎飼11月1日から翌年5月14日までを4月30日までにする。

哺育使用料1頭1日500円を650円に、放牧期使用料1頭1日につき、若齢育成群、受精妊娠群の区分をなくし、一括して300円とし、周年使用料は廃止するとして、議会はこれを可決しました。



条例の制定

議案第2号

標茶町めん羊振興に関する条例の制定

新規条例で、標茶町育成牧場において優良なめん羊を育成し、生産された羊肉と羊毛の還元に努め、畜産と観光の振興に寄与することを目的に必要な事項を定めたものです。

・別表では枝肉1kg2千500円、町内在住者は2千円とする。
・羊毛は1kg120円
・生体は1kg千円

などとしたもので、この条例案は新規条例なので、総務経済常任委員会に付託され、常任委員会で審議し可決した後、3月の第1回定例会で可決しました。



条例の一部改正

議案第5号

標茶町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

関連法令の変更により文言を整理したもので大きな内容変更はありません。議会は可決しました。

議案第6号

標茶町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

働き方改革の基づいて職員の残業時間を原則月45時間以内であったものを、100時間以内に改めるもので、反対はあったものの賛成多数で可決しました。

議案第7号

標茶町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

この条例は、弔慰金や災害障害見舞金の支給と併せて被害を受けた世帯の災害援護資金の貸付について定めたものですが、法令改正に伴い、資金の貸付について「報告等」の文言をつけたして整理したものです。議会は可決しました。

議案第8号

標茶町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

「子ども子育て支援法」の一部が改正されたことにより、条例に反映したもので、議会は可決しました。

議案第9号

標茶町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

学童保育の指導員について法律改正があったので条例に反映したものです。議会は可決しました。

議案第10号

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

文言を整理したもので、議会は可決しました。

議案第25号

標茶町住宅条例の一部改正

法律の一部改正に伴い、町住宅入居条件を一部緩和したもので、議会は可決しました。

◆ ◆ ◆ ◆ 令和2年 第1回定例会賛否一覧 ◆ ◆ ◆ ◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議 員 名 議案等の内容	渡 邊 定 之	類 瀬 光 信	長 尾 式 宮	松 下 哲 也	熊 谷 善 行	鈴 木 裕 美	深 見 迪	本 多 耕 平	黒 沼 俊 幸	鴻 池 智 子	後 藤 勲	菊 地 誠 道	結 果
議案第6号 標茶町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	欠	×	×	○	○	○	○		原案可決
意見書案第1号 国民健康保険の交付金減額（ペナルティ導入）に反対する意見書	○	×	×	×	欠	○	○	×	×	×	×		原案否決
意見書案第2号 教員の変形労働時間制を導入しないことを求める意見書	○	○	×	○	欠	○	○	×	×	×	×	×	原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席（議長は、可否同数以外の採決には加わりません。）

総務経済委員会所管事務調査報告書

調査日時：令和元年 10 月 21 日

令和2年 2 月 21 日

調査場所：標茶町役場議員室

1. 調査事項

農畜産物加工施設について

2. 出席者

委 員：長尾委員長、渡邊副委員長、松下委員、熊谷委員、深見委員、菊地委員

説明員：長野農林課長、菊地農業企画係長

事務局：佐藤事務局長、小野寺議事係長

3. 調査の経過及び内容

現在、標茶町農業協同組合（以下 JA しべちゃ）では農畜産物加工施設の老朽化に伴い、建て替えを検討している。また、平成30年度 JA しべちゃ総会の中で、かねてよりの懸案であったミルクプラント建設の決定がされたと説明を受けた。

また新年度より、JA しべちゃ、標茶町役場、標茶町商工会、標茶町観光協会、標茶高校がメンバーとなる標茶町酪農畜産加工品検討推進協議会が立ち上げられ、ミルクプラント・加工センター建設に向けて本格始動されとの説明もあった。

4. 委員会の所見

畜産加工品については牛乳以外にも検討されているが、供給・流通体制においてさらなる検討、議論を要する。

施設建設にあたっては JA しべちゃと標茶町で協議を重ねている最中であり、現時点では事業主体・実施主体が明確となっていない為、標茶町酪農畜産加工品検討推進協議会の中で協議が必要と考えるが、農畜産物加工を中心として各関係団体の協力のもと、地場商品の商品開発・消費拡大につながることを期待する。

厚生文教委員会所管事務調査報告書

調査日時：令和 1 年 12 月 23 日

令和 2 年 1 月 29 日

調査場所：標茶町役場議員室
学校給食共同調理場
浜中町給食センター

1. 調査事項

学校給食共同調理場について

2. 出席者

委 員：黒沼委員長、類瀬副委員長、鈴木委員、本多委員、鴻池委員、後藤委員

説明員：穂刈学校給食共同調理場長、田代管理業務係長

事務局：佐藤事務局長、小野寺議事係長

3. 調査の経過及び内容

(1) 第 1 回調査（1 2 月 2 3 日）は、現施設の実態と建設予定地を視察した。更に建設計画の概要について担当課から説明を受けた。

(2) 第 2 回調査（1 月 2 9 日）は、浜中町給食センターを視察し、最新の設備、アレルギー対策、労働環境の保全などについて留意点について研修した。

(3) 浜中町給食センターでは、高校への給食提供に至った経緯と事務的な手順についても説明を受けた。

4. 委員会の所見

標茶町学校給食共同調理場は、昭和 56 年の開設から 38 年が経過し、施設全体の老朽化が顕著である。調理機器やボイラー、給湯設備といった給食調理の根幹をなすインフラのほか、調理員の労働環境を保全する空調設備の不調など深刻な問題が山積している。今回の建替は、こうした不具合を解消するとともに、現行の「学校給食衛生管理基準」に適合した施設で、適切且つ安全に調理された給食を児童生徒に提供することが目的で、一日も早い稼働が待望される。

事業費は、標茶小学校と渡り廊下でつながる構造と、建設用地に制限があるため抑制が難しい。当初、10 億円程度とされていた事業費は、消費税率の変更や労働力不足、資材費の高騰などが重なり、調査時点では 13 億 6 千 9 百万円程度まで膨張した。器具機材の発注方法を工夫するなどして経費が圧縮できたとする他の給食調理場の例を参考に、経費節減に努めなければならない。また、調理員の労働環境に最大限配慮するとともに、最新機器の導入により働きやすい職場をつくり、人手不足が解消されるよう期待する。

当該事業に対する学校施設環境改善交付金は、約 6 千 9 百万円で、残る 13 億円のうち 12 億円は、最も有利な過疎債を 2 年間に分けて確保する予定だ。本町の財政事情を考慮すると、過疎債の確保は勿論、残る 1 億円についても、より有利な資金を調達する努力が必要である。

新施設の給食提供数には、標茶高校の 250 食が含まれている。試算では事業費に影響がないとしているが、調理員不足や、自立目前の様々な経験が必要な高校生に対して、生徒確保策の大前提とこのことであるが、義務教育と同様に給食を提供することの是非をきちんと議論すべきである。保護者と生徒の意向を把握することは当然として、既に高校への給食提供を行っている事例の成果を分析すべきである。

第一回定例会 議会日誌から

十二月二十三日	厚生文教委員会
一月九日	広報調査特別委員会
一月十六日	広報調査特別委員会
一月二十四日	議会運営委員会
一月二十八日	第一回臨時会
一月二十九日	厚生文教委員会
二月十九日	釧路町村議会議長会2月定例会
二月二十一日	総務経済委員会
二月二十五日	川上郡衛生処理組合議会
二月二十五日	釧路北部消防事務組合議会
三月三日	議会運営委員会
三月六日 ～十三日	第一回定例会
三月三十日	広報調査特別委員会



— 標茶小学校 入学式 —

編集後記

令和2年第1回定例会は、今まで経験したことがない状態の中で開会されました。

新型コロナウイルス対策の中での議会運営、今季一番の大雪の議会初日、10日未明からの大雨により、11日は休会とし、そのため13日まで会期の延長をするなど柔軟な対応をしました。

特に、新型コロナウイルス対策では、議席も間隔を空けての着席とし、町長、教育長の施政方針は、口頭での演説を省略し、文書配布としました。

今回は、傍聴する町民の方も少なかったのですが、自己防衛上当然のことと感じています。

一般質問には9氏が登壇し、19件にわたって質問しました。町民の声の代弁者として今年度の予算案と合わせて町理事者と議論を積極的に行いました。

10日未明からの大雨により避難指示が出され、大変不安な思いをされた方が多数いたと思います。今年度予算では、全戸に防災無線が設置される提案もされました。町民みなさんの安全、安心のために役立つものと確信しています。

今後とも正確な議会での議論の経過を町民のみなさんに届ける努力をしてまいります。

また、議会に対してもご意見を賜りますようお願い致します。

(文責) 松下哲也